

B
I
T
O
K
I

美 と ま

美しい時代へ——東急グループ

第154期期末 株主通信

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

株主通信「美とき」に込めた想い

東急グループは、グループスローガンとして「美しい時代へ」を掲げています。このスローガンには、東急グループが美しい生活環境を創る先駆者になる決意が込められています。

本誌のタイトル「美とき」は、「美しい時代へ」の“美”と“とき(時)”を組み合わせ名付けました。私たちが“美しい”生活環境の創造へと向かう姿を「これまで・いま・これから」それぞれの“とき(時)”から紐とき、株主の皆さまへお伝えしたいという想いが込められています。

証券コード：9005



東急歌舞伎町タワー 2023.4.14.OPEN

ごあいさつ

東急株式会社
取締役社長

堀江 正博
Masahiro Horie



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

6月29日に、取締役社長に就任いたしました堀江でございます。高橋よりバトンを受け取り、クリエイティブな発想で当社のさらなる成長に向けて着実に取り組みを進めてまいります。

当期においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策と社会経済活動の両立が進み、企業収益に持ち直しの動きが見られましたが、ロシア・ウクライナ情勢が長期化するなか、地政学的リスクの顕在化やエネルギー・原材料価格の高騰、欧米各国における急速な金融引締め等、未だ先行き不透明な状況が高いレベルで続いております。

業績ハイライト

当期の営業収益は、交通事業やホテル・リゾート事業を中心に、利用者数の回復が見られたことなどにより、9,312億円(前年同期比5.9%増)、営業利益は446億円(前年同期比41.4%増)、経常利益は473億円(前年同期比35.3%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、持分法投資利益の増加などにより、259億円(前年同期比196.0%増)となりました。

株主・投資家の皆さまへ
<https://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>



このような状況のなか、当社グループにおいては、2021年度より『変革』を基本方針とする中期3か年経営計画に基づき、足元の事業環境変化への対応として、損益分岐点の改善による収益の復元等、事業構造改革に取り組みつつ、ポストコロナを見据えた施策も講じてまいりました。

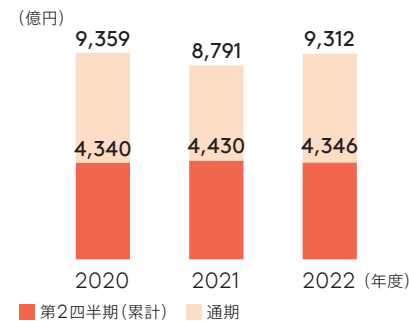
事業構造改革の進展に加え、交通事業では東急電鉄(株)の輸送人員が前年同期比10.2%増加し、ホテル・リゾート事業では、(株)東急ホテルズの客室稼働率が前年同期比で26.5ポイント改善するなど利用者数の増加が見られたことなどにより、2022年度の営業利益は2018年度の54%に当たる446億円(前年同期比41.4%増)まで回復いたしました。

中期経営計画最終年度となる2023年度、事業構造やサービスの深化など、アフターコロナを見据えさらなる成長に向けて動く

本年度は、中期3か年経営計画の最終年度となります。引き続き構造改革等の取り組みを着実に進め、本年度は営業収益1兆円、営業利益700億円とコロナ前の水準への復帰を目指します。

本年3月には、国土交通大臣の認可を経て鉄軌道旅客運賃の改定を実施いたしました。日々多くのお客さまにご利用いただいている鉄道事業において、安全・安心の追求は不可欠で、これまでもホームドア、車内防犯カメラ、踏切障害物検知装置の設置完了という「3つの100%」を達成いたしました。当社は業界内でも高い水準の設備を導入・更新してまいりましたが、今後も多様化する社会的要請に応じた

営業収益



価値を提供し、お客さまに安心してご利用いただけるよう努力を続けます。

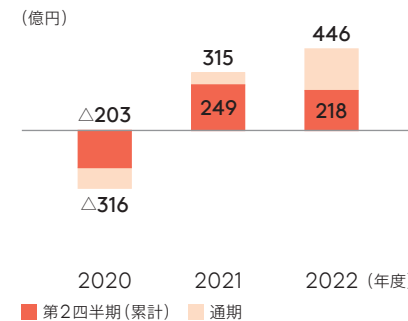
また、同じく3月には「東急新横浜線」が開業し、各種メディアでも大きく取り上げていただきました。本路線の開通により、新幹線アクセスは飛躍的に向上、相鉄線との相互直通運転と、7社局14路線の広域ネットワーク構築による東急沿線の利便性が向上し、さらには、潜在的移動需要の喚起も期待されます。

4月には「東急歌舞伎町タワー」が無事開業を迎えました。ライブホールや劇場、映画館からなるエンターテインメントとホテルが融合した、国内でも珍しい都心型複合施設となっています。「祭り」をテーマとした食・音楽・映像が融合したエンターテインメントフードホールやアミューズメントコンプレックスも備えており、各フロアが吹き抜けでつながるなど、一体感のある空間で、多くの人で賑わっています。

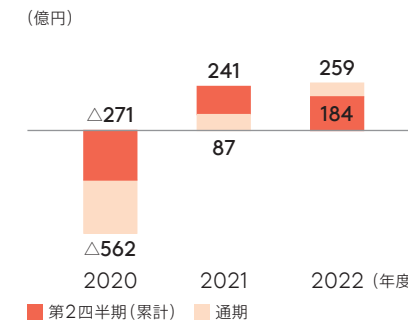
コロナ禍において、動画配信サービス等が普及する一方で、「リアルの場で感動を味わう素晴らしさ」が再認識されました。早速多くの方に足を運んでいただいております。ホテルオープン前の1か月間で100万人の入館があり「エンターテインメントをリアルに楽しむことができる場」の確かな需要を感じています。ホテルも含めた館全体での連動企画など本施設ならではの取り組みを進め、新たなエンターテインメントの発信拠点にしていきたいと思っています。

昨年秋以降、鉄道やホテルの利用者も徐々に戻りつつあり、特にインバウンドのお客さまは、昨年前半までは対2019年比1割台で推移していましたが、2022年度の後半では、同年比の半分程度まで回復してきています。また、渋谷

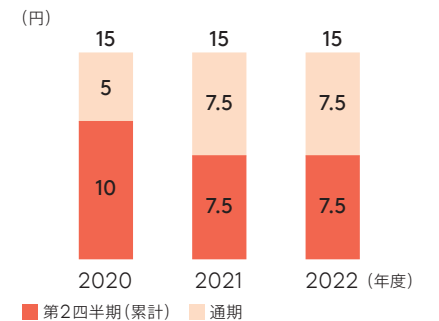
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株あたり配当金



スクランブルスクエア屋上の展望デッキ「SHIBUYA SKY」では、3月の1日当たり入場者数が5,900人とコロナ禍前の2019年11月開業時を上回り、過去最高を記録しました。さらに5月からは、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へ変更されアフターコロナのステージに移行し、渋谷の街もかつての賑わいを取り戻してきました。

これから、次期中期経営計画を策定してまいります。コロナ禍や大型投資により増えた負債を抑制しつつ、成長戦略を打ち出し実行していく必要があると認識しています。さらに「魅力ある沿線の創出」、「お客さま目線でのサービス改善」、「クリエイティビティ(創造性)の発揮」の3つに注力しながら、東急グループスローガンである「美しい時代」と楽しさの提供へと歩みを進めていきたいと思っています。

これからの100年も、皆さまとの信頼関係を守り、さらに昇華させながら「美しい生活環境の創造」を目指します

2022年9月、当社はおかげさまで創立100周年を迎えることができました。これまでの100年も、豊かな生活環境の創造や社会との調和を大切にまいりましたが、今後もこの意識を持って、脱炭素・循環型社会に向けた「環境と調和するまち」の実現に取り組むとともに、皆さまが求める「楽しさ」「豊かさ」「美しさ」を提供することで誰もが安心して住み続けられるまちづくり「美しい生活環境の創造」を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023.4.14.OPEN



▲ BELLUSTAR TOKYO, A Pan Pacific Hotel ▲ 109シネマズ プレミアム新宿 ▲ THEATER MILANO-Za ▲ Zepp Shinjuku (TOKYO) ▲ ZEROTOKYO ▲ HOTEL GROOVE SHINJUKU, A PARKROYAL Hotel

東急歌舞伎町タワー

歌舞伎町と東急のこれまで、そして未来

新宿歌舞伎町は、戦後、劇場・ダンスホール等を配した「道義的な繁華街」を目指し、官民一体で復興計画が立てられ、現在の街の原型が形成されました。東急グループも、1956年に新宿東急文化会館をオープンし(後の『新宿TOKYU MILANO』)、その時代に合わせたエンターテインメントを提供してきました。

この度、2023年4月に開業を迎えた「東急歌舞伎町タワー」プロジェクトでは、街の歴史や文化をもとに、官民一体となって歌舞伎町の都市再生を図っています。本プロジェクトは、東京圏国家戦略特別区域における国家戦略都市計画建築物等整備事業として、東京都および新宿区の都市計画審議会による審議、国家戦略特別区域会議による区域計画案の作成を経て、2018年6月に内閣総理大臣による認定を受け、告示されました。西武新宿駅前通りの整備、空港直結の空港アクセスバス乗降場の整備などの都市観光インフラと、ホテルおよび映画館・劇場・ライブホールなどの観光機能を一体的に整備し、世界有数の繁華街歌舞伎町を都市観光拠点へとアップデートしています。



▲ 新宿東急文化会館(1971年撮影)

建築デザイン

▶ 日本で「水」を意味する文様「青海波」



かつて歌舞伎町のシネシティ広場に噴水があったことや、歌舞伎町には水の女神である弁財天が祀られていることなど地域の歴史的な文脈である「水」を外観モチーフ「噴水」として継承しています。表紙に掲載している外観写真のとおり、歌舞伎町の根底に流れるエネルギーが噴水のように天に伸びる姿や、水の持つ純粋さ、常に変化する柔軟さ、透明な水・白い水飛沫が多層に重なり合う優雅な姿を表現したデザインとなっています。

INTERVIEW

さまざまな「好き」に出会い
“好きを極める”ことができるような場所へ

新宿プロジェクト企画開発室
事業統括グループ 運営・管理担当
主事

田中麻理子



東急歌舞伎町タワーは、ホテルおよび映画館・劇場・ライブホールなどのエンターテインメント施設が1つの建物内に配されている、国内でもとても珍しい施設です。戦後、新宿・歌舞伎町で培われてきたエンターテインメント文化やその歴史を継承しつつ、コロナ禍での計画の見直しも踏まえ、無事開業を迎えることができました。本施設のコンセプトである“好きを極める”を具現化する施策第1弾「EVANGELION KABUKICHO IMPACT」では劇場演目や関連映画上映、主題歌アーティストによるライブなど、各用途が連動した本施設ならではの取り組みも行いました。今後も訪れた方がさまざまな「好き」に出会い、“好きを極める”ことができるような場所にしていければと思います。

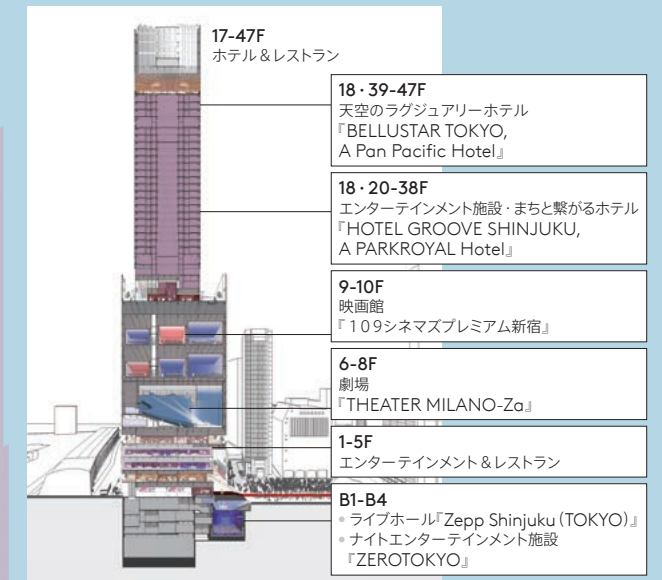
“好きを極める”新しいエンターテインメント複合施設

地上48階、地下5階、高さ約225mで、国内最大級*のホテル×エンタメ施設からなる超高層複合施設です。地下1階～地下4階は東急(株)・(株)ソニー・ミュージックエンターテインメント・(株)東急レクリエーションで設立した(株)TSTエンターテインメントが運営するライブホール『Zepp Shinjuku (TOKYO)』があり、夜の時間帯にはナイトエンターテインメント施設『ZEROTOKYO』として営業します。2階は「祭り」をテーマとした食、音楽、映像が融合したエンターテインメントフードホールとなっており、3階のアミューズメント複合とも吹き抜けでつながり一体感のあるにぎやかな空間となっています。



6階～8階には劇場『THEATER MILANO-Za』、9階～10階に(株)東急レクリエーションが運営する映画館『109シネマズプレミアム新宿』、18階～47階に東急ホテルズ&リゾー

ツ(株)が運営する2つのホテル(『BELLUSTAR TOKYO, A Pan Pacific Hotel』『HOTEL GROOVE SHINJUKU, A PARKROYAL Hotel』)があります。施設全体でさまざまなエンターテインメントをご体験いただける特徴的な施設となっています。



公共空間と一体となった企画でまちのにぎわいを創出

本施設東側のシネシティ広場と連動したイベントも実施し、公共空間と一体となったエリアマネジメントにより、まちの回遊とにぎわいを創出します。また、単にこれらの場所での体験にとどまらず、配信や

仮想空間等による新たな世界観の共有やホテルを含むエンターテインメント施設が融合した商品提供、好きを極めたい人々へのリアルとオンラインでのコミュニケーション提供など、立体的な体験と感動を提供していきます。



◀ 本施設東側に設置した屋外ビジョン「KABUKICHO TOWER VISION」と屋外ステージ「KABUKICHO TOWER STAGE」およびシネシティ広場の一体活用イベントイメージ(映画イベント)

東急歌舞伎町タワーの最新情報はこちら▶
<https://tokyu-kabukicho-tower.jp/>



9ページにてプレゼントキャンペーンを実施しています▶

*高さ200m以上で、ホテルとエンタメ施設(映画館、劇場、ライブホールなど)を含む複合施設における日本国内主要観光都市調査
調査期間: 2022年3月(株未来トレンド研究機構 調べ)

美しい時代へ

東急(株)のサステナビリティ

当社は、6つのサステナブル重要テーマを設定しており、これらにむき合い「未来に向けた美しい生活環境の創造」および「事業を通じた継続的な社会課題解決」に取り組んでいくという「サステナブル経営」を基本姿勢としています。本コーナーでは、「サステナブル重要テーマ」を実現するための取り組みをご紹介します。



「サステナブル重要テーマ」の詳細はこちら(統合報告書) ▶
https://ir.tokyu.co.jp/ja/ir/library/integrated_report/main/0/teaserItems2/0/linkList/0/link/TOKYU_Integratedreport_A3mihiraki_2022_1012_pass_all.pdf



サステナブル重要テーマ: 脱炭素・循環型社会

南町田グランベリーパークが「地球環境大賞」大賞を受賞

官民共同で公園・商業施設・駅を一体的に再開発し、郊外の新しい暮らしそのものを創出する「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」。その成果として、2019年11月にまちびらきを迎えたのが「南町田グランベリーパーク」です。2023年3月、官民連携による“新しい暮らしの拠点”の創出を通じた持続可能な未来のための地域循環共生圏の実現に向けた取り組みであることが評価され、第31回「地球環境大賞」大賞を受賞しました。

今般の受賞は、創業以来、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組み続けた当社と、将来的なゼロカーボンの実現に向けたまちづくりを進めている町田市が、連携して本地区において取り組んでいる施策(右記)について、総合的に評価をされたものです。



南町田グランベリーパーク



授賞式の様子

提供: 産経新聞社

主な評価ポイント

- ① グリーンインフラを採用し、雨水の自然浸透装置をエリア全体に配置
- ② 歩車分離かつバリアフリーでシームレスにつながったウォークアブルでコンパクトなまちづくり
- ③ カーボンニュートラルなライフスタイルの普及のため、電気自動車の急速充電器を設置
- ④ 商業施設での、LED照明および太陽光発電システムパネルの一部導入
- ⑤ 国際的な環境認証制度「LEED※」の2部門で国内初のゴールド認証を取得

※ 米国のグリーンビルディング協会が所管する環境性能評価指標

第31回 地球環境大賞 Since 1992

詳細はこちら ▶
https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=post_482.html



沿線のこれから

「選ばれる沿線」であり続けるために沿線活性化に努め、次世代へつながるまちづくりを推進しています。

新横浜線



2023年3月18日、日吉～新横浜駅を結ぶ、東急新横浜線が開業しました

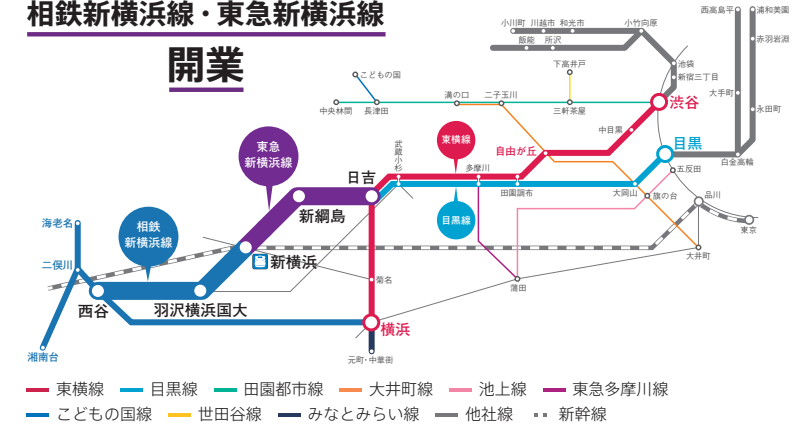
相鉄・東急新横浜線は、相鉄線西谷駅から新横浜駅を經由し、東横線・目黒線日吉駅までの区間に整備された新線です。この新線により、東急線と相鉄線がつながり、神奈川県央部および横浜市西部と東京都心部が直結し、広域ネットワークの形成と機能の高度化がなされ、所要時間の短縮や乗換回数の減少など利便性が高まるとともに、新幹線へのアクセスが向上します。



2023年3月18日

相鉄新横浜線・東急新横浜線

開業

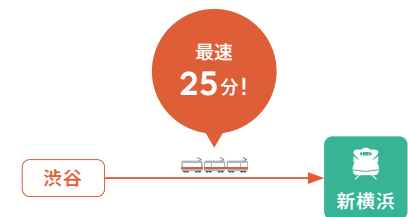


東横線 目黒線 田園都市線 大井町線 池上線 東急多摩川線
 こどもの国線 世田谷線 みなとみらい線 他社線 .. 新幹線

3つの便利ポイント

① 新幹線へのアクセス向上

東海道新幹線の停車駅である新横浜付近へ新駅を設置することにより、新幹線へのアクセスがこれまでに比べて大幅に向上します。



※ 所要時間は最短時間を示しており、ご利用になる列車により変動することがあります。

② 所要時間の短縮

主な区間の所要時間(終日における最速列車)

渋谷駅 → 新横浜駅	25分
渋谷駅 → 湘南台駅	51分
目黒駅 → 新横浜駅	23分
目黒駅 → 二俣川駅	38分

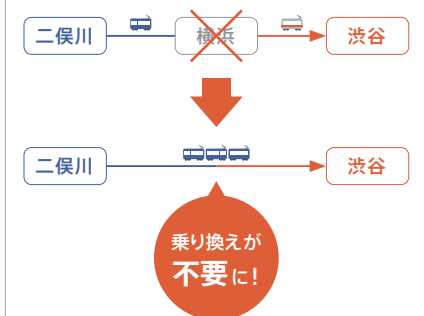
運行頻度(東急新横浜線)

- 朝ラッシュ時間帯(上り): 最大16本/時運行(そのうち4本が東横線、12本が目黒線に直通)
- 日中時間帯(上り): 6本/時運行(そのうち2本が東横線、4本が目黒線に直通、2本が新横浜駅始発)

※ 横浜駅を經由し東横線・目黒線を利用した場合との比較
 ※ 所要時間は最短時間を示しており、ご利用になる列車により変動することがあります。

③ 乗換回数が減少

相鉄新横浜線・東急新横浜線開業により都心へ直結。これにより途中駅での乗換回数が減少するため、快適に目的地まで行くことができます。



乗り換えが不要!

2022年
9月

Urban Hacksと連携し、東急線アプリを大幅リニューアル

東急電鉄株では、DX推進の一環として、東急株の特別組織である「Urban Hacks」と連携し、東急線アプリを大幅にリニューアルしました。アプリのトップページを変更して情報を把握しやすくしたほか、東急バス株のバスルートやバス停到着予定時分、バスの混雑状況なども確認しやすくなりました。また、プッシュ通知の詳細化により、東急線の運行情報や遅延・連休区間の路線を、スマホの通知画面上で確認できるようになりました。

詳細はこちら▶
<https://ii.tokyu.co.jp/tokyusenapuri>



2022年
10月

渋谷区内初の Park-PFI 事業※「渋谷区立北谷公園」が 2022年度グッドデザイン賞を受賞

当社を代表企業とする企業コンソーシアムが整備を行った渋谷区立北谷公園が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2022年度グッドデザイン賞を受賞しました。

※ 2017年の都市公園法改正により創設された、飲食店等の施設の設置と、公園の整備を行う民間事業者を公募により選定する制度



詳細はこちら▶
<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20221007-1.pdf>

2023年
1月

「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」 新たに「HOKKAIDO日本最北端の旅」プランも加え、2023年も運行します

当社と北海道旅客鉄道株が運行するクルーズトレイン「THE ROYAL EXPRESS～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」は、第4期となる2023年、宗谷本線を走る道北エリアの新プランに加え、北海道の魅力をより感じていただけるような旅を地域とともにお届けします。運行回数もさらに増やし、9回運行(2023年7月～9月)することが決定しました。

さらに、当社とJR四国・JR貨物・JR西日本が協力し、2024年に四国・瀬戸内エリアにおいて、観光振興・地域活性化を目的としたクルーズトレインの運行が決定しました。

詳細はこちら▶
https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid=the_royal_express_hokkaido_cruise_train-2023.html



2023年
3月

特別企画列車「SDGsトレイン 美しい時代へ号」をリニューアル。 運行路線を拡大して運行を継続します

当社は、阪急阪神ホールディングス株と協働で、SDGsの達成に向けた多様なメッセージを発信する特別企画列車「SDGsトレイン」を、国や自治体・企業・市民団体などと連携して、2020年9月より運行してきました。この度、「アクション」「共創」をテーマに車体ラッピングデザインや車内掲出物を一新、さらに、運行路線を5路線に拡大し、2026年3月末まで運行を継続することを決定しました。



詳細はこちら▶
<https://tokyugroup.jp/sdgs/train/>

株主優待情報

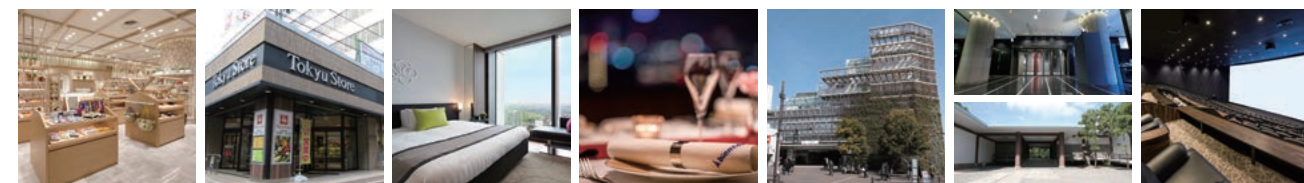
発行基準日：9月30日
11月中旬送付
有効期限：翌年5月31日まで

発行基準日：3月31日
5月中旬送付
有効期限：11月30日まで

100株以上ご所有の株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線または東急バスにご乗車いただける**株主優待乗車証**や、東急グループ各施設でお買い物・ご宿泊などにご利用いただける**株主ご優待券**をお送りしております。
また、5月発送分の株主優待より、**共通招待券対象施設に「ル・シネマ渋谷宮下」が追加、さらに109シネマズで使える「株主映画鑑賞優待券」も追加となりました。**

所有株式数	株主優待乗車証(きっぷ式)	株主優待乗車証(バス券式)	株主ご優待券
100株以上	2枚	—	A
500株以上	5枚	—	B
1,500株以上	10枚	継続保有で5枚追加	
2,500株以上	20枚	—	
5,000株以上	40枚	—	
9,500株以上	80枚	—	
12,000株以上	10枚	継続保有で10枚追加	
14,000株以上	30枚	—	電車・バス 全線バス1枚
28,500株以上	30枚	—	

株主ご優待券利用店舗のご紹介 (A 100株以上500株未満、B 500株以上)



東急百貨店 お買い物 10%割引券
東急ストア お買い物 50円券
東急ホテルズ 宿泊ご優待券※1
東急ホテルズ 飲食代金 10%割引券
東急病院 人間ドック基本料金 10%割引券
Bunkamura ザ・ミュージアム/ル・シネマ渋谷宮下※2 五島美術館 共通招待券
株主映画鑑賞優待券※3

A 5枚 B 10枚 A 20枚 B 40枚 A 4枚 B 8枚 A 2枚 B 4枚 B 1枚 B 4枚 B 4枚

※1 東急ホテルズコンフォートメンバーズ会員(無料会員組織)の株主さまは、お得な会員価格よりさらに割引した株主さま特別価格もしくは宿泊基本料金(定価)からの割引。

※2 Bunkamuraの長期休館に伴い、「ル・シネマ 渋谷宮下(映画館)」を期間限定で対象施設に追加します。

※3 全国の109シネマズ&ムービルにおいて1,000円でご鑑賞いただけます。109シネマズプレミアム新宿は、一般料金から1,000円引き。3D作品、IMAX®作品、4DX作品等については、+追加料金となります。

各種制度(継続保有制度、家族合算優待制度)、優待についての
詳細は右記Webサイトよりご確認ください。

株主優待情報
https://ir.tokyu.co.jp/ja/ir/stock_bond/complimentary.html



PRESENT CAMPAIGN

株主さま特別プレゼントキャンペーンのご案内

今回は、東急新横浜線と東急歌舞伎町タワーの開業を記念し、それぞれ特別なプレゼントをご用意しました。どうぞ奮ってご応募ください。



A賞

東急歌舞伎町タワー17階
JAM17 DINNING
ランチご招待券

3組 6名様

(有効期限：2024年1月末まで)

B賞

東急歌舞伎町タワー9階～10階
109シネマズプレミアム新宿
映画鑑賞ご招待券(ペア)

3組 6名様

(有効期限：2024年6月末まで)

C賞

東急新横浜線 開業記念デザイン
ミニタオル、キーホルダーセット

30名様

応募方法

応募〆切：**2023年7月21日(金)**

当選結果のご案内：当選者さまへのプレゼント発送をもって代えさせていただきます。
(2023年8月中旬頃発送予定)

※当選者さまにお送りするチケットに関しまして、期限延長等の対応は行っておりません。あらかじめご了承ください。



Webサイト：下記URLまたは二次元コードからご応募ください。

<https://www.tokyu.co.jp/kabunushievent/index.html>



当社ホームページのトップページからは以下のようにアクセスいただけます。

東急HOME > 株主・投資家の皆さまへ > IRニュース > (お知らせ)株主さま特別イベントのご案内

会社情報

会社概要

商号 (英文名)	東急株式会社 TOKYU CORPORATION
設立年月日	1922年9月2日
本店所在地	〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
事業内容	交通事業・不動産事業・他

役員一覧 (2023年6月29日時点)

代表取締役会長		野本 弘文
代表取締役副会長		高橋 和夫
代表取締役社長	社長執行役員	堀江 正博
取締役	専務執行役員	藤原 裕久
取締役	専務執行役員	高橋 俊之
取締役	常務執行役員	濱名 節
取締役		金指 潔
取締役		島田 邦雄
取締役		蟹瀬 令子
取締役		宮崎 緑
取締役		清水 博
監査役		島本 武彦
監査役		秋元 直久
監査役		露木 繁夫
監査役		隅 修三

企業情報
<https://www.tokyu.co.jp/company/>



株主・投資家の皆さまへ
<https://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う https://www.tokyu.co.jp/koukoku/index.html

株式に関するお問い合わせ先

(住所・姓名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)

【証券会社に口座を開設されている株主さま】
口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

【証券会社に口座を開設されていない株主さま】(特別口座の株主さま)
連絡先：〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031

(フリーダイヤル・平日9:00～17:00)

URL：<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

東急グループのサービスに関するお問い合わせ先

東急グループお客さまご案内窓口

東急お客さまセンター

TEL：**03-3477-0109**

(平日9:00～17:00 / 土日祝9:00～17:00)

*年末年始などを除きます



TOKYU 100 Years time train TOKYU TRAIN HISTORY

東急グループは、2022年9月に創立100周年を迎えました。
創業当初から現在まで、東急線を走ってきた歴代車両の一部をご紹介します。

1923 (大正12)年



デハ1型 (撮影: 荻原 二郎)

**茶色の小さな車両は、
まちづくりとともに
走りはじめた。**

目黒蒲田電鉄株*が目黒～丸子(現沼部)駅間の開業時に導入した小型の電車。茶色の塗装に、田の字に「ト」が4個配されたまちづくりを担う田園都市株の社紋が記されました。

※当社の前身

1936 (昭和11)年



ガソリンカー・キハ1形 (撮影: 荻原 二郎)

**ガソリンで走る、
流線型の超レア車両。**

変電所の増設をせずに急行運転を行うために東横線に導入されたガソリンカー。その後の戦時燃料統制などもあり、短期間の活躍に終わりました。

1954 (昭和29)年



5000系 (初代)

**軽やかにまちを走った
「青ガエル」。**

航空機由来のモノコック構造を採用し、車体重量を従来の約3分の2に抑えた東急初の高性能車両。ライトグリーンで丸い外観から「青ガエル」と呼ばれました。

1958 (昭和33)年



5200系 (撮影: 荻原 二郎)

**日本初のステンレス車両は、
実は東急でした。**

電気部品や台車は5000系(初代)と同じものを使い、車体外板をステンレスとして4両製造。日本初のステンレスカーとして、7000系とともに、日本機械学会の「機械遺産」に指定されました。

2002 (平成14)年



5000系

**環境のことも考えて、
ダイエットを
がんばりました。**

熱線吸収・紫外線カット窓ガラスなど車内環境を向上。車体や機器の集約による軽量化や、走行時の騒音も低減し、使用電力を従来の車両に比べ約40%削減しました。

2018 (平成30)年



2020・3020・6020系

**安心して乗れる、
心地よく乗れるを、もっと。**

2020系は田園都市線最新鋭車両。低騒音化を一層進め、基本設計や主要機器は他社の車両等と共通化し保守性を向上。目黒線用の3020系、大井町線用の6020系も登場しています。

お問い合わせ

東急株式会社 社長室 総務グループ

〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5-6 TEL: 03-3477-6228 (平日 9:30~12:30 / 13:30~17:00)



2023年6月



Printed in Japan